

分野	科目名	単位(時間)	講師名
統合分野	在宅看護総論	1(30)	幾島美由紀
目的	時代にあった社会情勢・地域社会の特徴、また地域で「生活をする」人々の在宅ケアニーズを知り、在宅看護の必要性と在宅看護の目的を理解できる。		
目標	在宅看護の概念を理解できる。 在宅看護の対象を理解できる。 在宅看護の活動方法を知ることができる。 保健医療福祉対策と在宅看護の関連を知ることができる。		
授業内容	回	項目	内 容
	1	在宅看護の概念	1. 在宅看護を学びにあたって ・看護を巡る諸情勢の変化と在宅看護 ・在宅ケアニーズの動向
	2	在宅看護の概念	2. 地域保健医療福祉と在宅看護 ・地域保健医療福祉活動と在宅ケアの関連 ・地域とは ・在宅ケアを支える条件、地域のケア体制
	3	在宅看護の概念	・地域における看護活動の変遷と現状 (*介護保険グループワークの導入)
	4	介護保険制度のグループワーク	(内容)
	5	介護保険制度のグループワーク	1. 介護保険制度の成り立ち、概要
	6	介護保険制度のグループワーク	2. 新介護保険の概要(改正部分・内容) 3. 介護保険給付の手続き、認定内容
	7	グループワーク発表	4. 介護保険制度による社会資源(サービス内容)
	8	グループワーク発表	5. 地域包括支援センターについて
	9	在宅看護の対象	1. 「家」「家族」「家で生活すること」とは *グループワーク 2. 在宅看護の対象となる個人 ・在宅看護の対象となる個人の特性
	10	在宅看護の対象	・在宅療養者と地域環境 3. 在宅看護における家族の意味 4. 社会の変化と家族の役割 5. 在宅療養者の家族への援助 6. 在宅療養者の権利保障
	11	在宅看護活動	1. 地域看護活動における在宅看護の位置づけ ・地域看護の概念 ・地域看護の機能と役割
	12	在宅看護活動	2. 在宅看護活動の基本概念 ・在宅看護の目的と機能 ・継続看護とは
	13	在宅看護活動	3. 訪問看護の展開 ・訪問看護の機能 ・訪問看護の効果 ・制度による訪問看護活動
	14	保健医療福祉対策と在宅看護	1. 在宅看護に関わる法規 2. 在宅ケア体制と看護活動
15	テスト		
教科書 参考書	系統看護学講座 専門4 在宅看護論 医学書院 在宅看護論 第4版 医歯薬出版株式会社 イラストで見る診る見る 在宅看護 第3版 医学評論社		
評価方法	筆記試験(80点)、グループ発表(20点)にて評価する		

分野	科目名	単位(時間)	講師名
統合分野	在宅看護援助論 I	1(30)	
実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
目的	在宅看護における生活支援の方法と技術について理解できる。		
目標	在宅療養者の日常生活援助を考え工夫することができる。 医療処置に伴う生活行動支援について理解できる。 在宅ターミナル療養者の看護について理解できる。		
授業内容	回	項目	内容
	1	在宅療養者の日常生活援助	1. 在宅看護に求められる技術
	2	在宅療養者の日常生活援助	・対応とマナー * 在宅のシミュレーションルームをを利用する
	3	在宅療養者の日常生活援助	2. 日常生活援助技術
	4	在宅療養者の日常生活援助	・病院と在宅看護の違いを明確にし、在宅で行う日常生活援助を考える
	5	在宅療養者の日常生活援助	<項目>
	6	在宅療養者の日常生活援助	・入浴介助 全身清拭 洗髪(ベッド上) 洗髪(畳上)
	7	在宅療養者の日常生活援助	食事介助 生活環境
	8	在宅療養者の日常生活援助	*グループワークを行い、発表を在宅シミュレーションルームでおこなう
	9	医療処置に伴う生活行動支援	1. 在宅における感染防止技術
	10	医療処置に伴う生活行動支援	2. 経管栄養・胃ろう
			3. 尿道カテーテル留置と交換
	11	医療処置に伴う生活行動支援	4. 浣腸
			5. 吸引
	12	医療処置に伴う生活行動支援	6. 気管カテーテル挿入中のケア
7. 在宅輸液療法			
13	在宅ターミナル療養者の看護	8. 在宅酸素療法	
		9. 人工呼吸器装着時の看護	
14	在宅ターミナル療養者の看護	10. 腹膜還流	
		11. 服薬指導	
15	テスト	12. 緊急時の看護	
		1. 在宅ターミナルケアの条件	
15	テスト	2. 在宅ターミナルケアの展開	
		3. 苦痛の緩和と安楽への援助	
15	テスト	4. 家族に対する支援	
教科書	系統看護学講座 専門4 在宅看護論 医学書院		
参考書	イラストで見る診る看る 在宅看護 第3版 医学評論社		
	在宅看護技術ーその手順と教育支援ー 第2版 メヂカルフレンド社		
評価方法	筆記試験(80点)、グループ発表(20点)にて評価する		

分野	科目名	単位(時間)	講師名
統合分野	在宅看護援助論Ⅱ	2(45)	
実務経験	■ 有 □ 無		
目的	在宅で療養する対象者とその家族の看護過程が展開できる 在宅で療養する対象者を総合的に捉える事ができる		
目標	事例を通して看護過程を展開できる 各期の在宅対象者を総合的に捉えることができる これからの在宅看護を考える力を養う		
授業内容	回	項目	内 容
	1	各期の在宅対象者	1. 小児在宅看護(先天性疾患の漢字・身体障害児)
	2		
	3	各期の在宅対象者	2. 成人在宅看護(難病・脊椎損傷・精神障害)
	4		
	5	各期の在宅対象者	3. 老年在宅看護(認知)
	6		
	7	在宅看護介入時期別の特徴	1. 地域医療連携とは
	8		2. 退院調整とは
	9		3. 各期別の特徴(在宅療養準備期・在宅療養移行期 在宅療養安定期・急性増悪期・終末期)
	10		4.在宅療養終了時
	11		
	12	事例展開	1.事例のペーパーペイシエントによる事例展開
13	1.糖尿病で日中独居の療養者 2.筋萎縮性側索硬化症で人工呼吸療法を行っている療養者 3.終末期の療養者	①アセスメント	
14		②看護上の問題とその理由	
15		③訪問看護計画	
16		④実施	
17		⑤評価	
18			
19			
20			
21			
22			
23	テスト		
教科書 参考書	系統看護学講座 専門4 在宅看護論 医学書院 在宅看護論 第4版 医歯薬出版株式会社		
評価方法	筆記試験(70点)、事例展開(30点)で評価する		

分野	科目名	単位(時間)	講師名
統合分野	看護管理	1(30)	
実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
目的	新しいヘルスケアシステムを創造し、チームや組織、システムを動かしていく活動を理解する		
目標	看護のマネジメントについての基礎的な知識を学ぶ。 チーム医療及び他職種との協働の中で、看護師としてのメンバーシップ及びリーダーシップを学ぶ。		
授業内容	回	項目	内容
	1	看護とマネジメント	1. 看護管理学とは 2. マネジメントとは 3. 看護におけるマネジメント
	2	ケアのマネジメント	1. ケアのマネジメントと看護職の機能 2. 看護基準と看護手順
	3	ケアのマネジメント	3. 患者の権利と尊重 4. 安全管理
	4	ケアのマネジメント	5. 看護職の協働 6. 他職種との協働 7. 情報
	5	看護サービスのマネジメント	1. 看護サービスのマネジメント
	6	看護サービスのマネジメント	2. 組織目的達成のマネジメント
	7	看護サービスのマネジメント	3. 協働の為のマネジメント
	8	看護サービスのマネジメント	4. 情報のマネジメント
	9	看護サービスのマネジメント	5. 技術のマネジメント
	10	看護サービスのマネジメント	6. サービスの評価
	11	看護をとりまく諸制度	1. 看護の適宜 2. 看護職
	12	看護をとりまく諸制度	3. 看護実践の領域と場 4. 医療制度
	13	マネジメントに必要な知識と技術	1. 組織とマネジメント 2. リーダーシップとマネジメント
	14	マネジメントに必要な知識と技術	3. 組織の調整 4. 組織と個人
	15		
	16	テスト	
教科書 参考書	系統看護学講座 別巻8 看護管理		医学書院
評価方法	筆記試験にて評価を行う。		

分野	科目名	単位(時間)	講師名
統合分野	医療安全	1(15)	
実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
目的	医療事故がおこる過程と、それを防止するための対策について理解する。		
目標	安全管理の基本知識を学び、ケア提供に際して安全を確保するための実際を学ぶ。		
授業内容	回	項目	内容
	1	医療安全と看護の理念	1. 医療安全の意味とその重要性 2. 看護職の法的規定と医療安全
	2	医療安全への取り組みと医療の質の評価	1. 国の医療安全への取り組み 2. 看護職能団体の取り組み 3. 医療事故の報告制度 4. 医療の質の評価
	3	事故発生のメカニズムとリスクマネジメント	1. 事故発生のメカニズム 2. 事故分析 3. 事故対策
	4	患者・家族との協同と安全文化の醸成	1. 患者・家族との協同 2. 医療安全管理者－医療安全を担う新たな役割 3. 全員参加の医療安全:安全文化の醸成
	5	看護における医療事故と安全対策	1. 看護業務と事故発生要因 2. 医療事故の種類:その分析
	6	看護における医療事故と安全対策	1. 看護業務と事故発生要因 2. 医療事故の種類:その分析
	7	事故の症例による検証	1. 組織としての医療安全対策を学ぶ ・医療安全とコミュニケーション ・組織的な医療安全対策の考え方 ・システムとしての事故防止の具体策
	8	医療安全を学ぶ目的	医療安全のコミュニケーション等のグループワーク
	9	テスト	
教科書 参考書	メディカ出版 看護の統合と実践 医療安全		
評価方法	筆記試験にて評価を行う。		

分野	科目名	単位(時間)	講師名
統合分野	災害看護	2(45)	
実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
目的	災害時における看護実践のための基礎的な知識を習得する。		
目標	災害が社会の変化や地域の人々の暮らしと密接に関係しながら、人々の生命や生活に影響を及ぼすことを理解し、更に社会における看護の役割を果たすために必要な災害各期の看護活動を学ぶ。		
授業内容	回	項目	内容
	1	災害及び災害看護に関する基礎的知識	1. 災害医療・看護概要
	2	災害及び災害看護に関する基礎的知識	2. 災害の種類および被害・疾患の特徴
	3	災害及び災害看護に関する基礎的知識	3. 災害サイクル
	4	災害及び災害看護に関する基礎的知識	4. トリアージについて
	5	災害及び災害看護に関する基礎的知識	
	6	災害及び災害看護に関する基礎的知識	
	7	災害及び災害看護に関する基礎的知識	
	8	災害発生時の社会の対応やしくみ、個人の備え	1. 災害時の情報収集と法律
	9	災害時に看護が果たす役割	1. 災害時の看護活動
	10	災害各期における看護支援活動	2. 医療救護所における看護
	11	災害時に看護が果たす役割	3. 避難所における看護
	12	災害各期における看護支援活動	4. 避難所運営
	13	災害時に看護が果たす役割	5. 避難所体験
	14	災害各期における看護支援活動	6. 災害時の応急処置
	15	災害時に看護が果たす役割	7. 仮設住宅における看護
	16	災害各期における看護支援活動	8. 在宅における看護
	17	災害時に看護が果たす役割	9. 復興住宅における看護
	18	災害各期における看護支援活動	10. 被災者の心理的特徴と援助
	19	災害時に看護が果たす役割	11. 支援者の心理状態とその特徴
	20	災害各期における看護支援活動	12. 災害時における健康危機管理
	21	災害時に看護が果たす役割	13. 災害看護と国際看護
	22	災害各期における看護支援活動	
	23		
24	テスト		
教科書 参考書	災害看護 人間の生命と生活を守る メディカ出版		
評価方法	授業態度(10点)、レポート(10点)、筆記試験(80点)にて評価を行う。		